

第3回「学びの変革」委員会

1 出席者

校長(委員長)	○	教 頭	Ⓣ	総括事務長	○	主幹教諭	Ⓣ
指導教諭	○	総務部長(司会)	○	進路指導主事(中核教員)	○	実践推進リーダー	○
教務主任	○	1学年主任	○	2学年主任	Ⓣ	3学年主任	○

2 校長より (10分)

「深い学び」をどう授業の中で展開し実現していくか研究を行うこと。

生徒の授業での状況をホームページで発信していくことを進めること。

3 教育研究部より (15分)

(1) 1年 単元計画

・5月10日(水)イノベーションプラン第1回基礎編(アイデアの発想法など)を実施する。7月5日(水)にイノベーションプラン第2回実践編(マーケティングなど)、7月7日(木)第3回(作成プランのブラッシュアップ)を予定している。6月21日に尾北検定の踏まえてフィールドワークを行う。名刺の作成なども情報の授業と連携して行う。

・昨年は課題解決のフィールド枠であったが、今年度は課題発見のためのフィールドワークも行い、課題設定が適切であるかどうかを検証することも進めていくことで深い学びになるようにしていく。

(2) 2年 研修旅行に向けた進捗状況

・研修②はほぼ決定し、担当教員から研修先との連携を行っていく予定。また研修①の決定に向けて進めていく。

4 実践推進リーダーより (15分)

平成29年度第1回実践推進リーダー養成研修報告

・平成30年度全県展開に向けて

「全ての学校で課題発見・解決学習が行われ、主体的な学びを促す授業の取組が進んでいる状態」

・教育部長講話より

「知識」と「主体的な学び」の往還によって、真正の知識技能の習得となる。育成すべき資質、能力を各校で明確化し、それぞれの授業を高めて欲しい。

・資質・能力の精選、実施時期については、単元の焦点化、質的ルーブリックについては、資質・能力と対応させることが重要。

・カリキュラムは与えられるものという意識を改革し、カリキュラムを作りだし、評価・改善するという取組が求められる。